



小・中学校に 新1年生が仲間入り

4月6日(水)、町内の小・中学校で入学式がおこなわれ、小学校に106名、中学校に98名が仲間入りしました。

新入生は、期待と不安が入り混じった様子で入場していましたが、名前を呼ばれると「はい！」と元気よく返事をしました。

大崎中学校の新入生代表を務めた藤岡庵爾あんじさんは「仲間と支え合い先輩方や先生方にご指導いただきながら、中学校での生活をより実りある3年間にできるよう、感謝を忘れず精一杯努力し続けたいと思います」と力強く挨拶をしました。



読み聞かせを通して交流

3月13日(日)、おおさきチャレンジ朝市において、NPO法人このはな主催による絵本の読み聞かせ会がおこなわれました。

このイベントは、子どもや保護者と地域の方々との交流を目的におこなわれています。

参加者は、琴鳴堂ことなりどうの四元誠まこと代表による絵本の読み聞かせと、NPO法人このはなの川畑千明ちあき代表による鹿児島弁パネルシアターを楽しんだ後、夜光貝を丁寧に磨いてペンダントをつくりました。



ふるさとPR大使に瀧谷さんが就任

3月1日(火)、大阪成蹊大学教授の瀧谷賢司けんしさんに大崎町ふるさとPR大使を委嘱しました。

瀧谷さんはこれまで日本一の陸上競技選手を育てられ、東京五輪では日本陸上競技連盟強化委員や女子リレー・ナショナルヘッドコーチを務めました。また、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅においては設計時からご指導、ご助言をいただいております。施設オープン後も選手を率いて年に数回合宿をおこなっています。

瀧谷さんは「アストレは陸上競技のトレーニングができる日本トップの施設。存在を知らないチームや選手に積極的に発信していきたいです」と話されました。